

レベル0 報告書運用手順

使用目的：影響レベル0の発見をより報告しやすくすることにより、インシデントやアクシデント発生を未然に防ぐことを目的とする。

1. 記載対象内容

インシデント報告0レベル（患者等には実施されなかった場合）のみとする。

例)

- ・アレルギーがある患者へ、薬剤アレルギーに近い抗生剤が準備されたが、患者への投与前に発見した。
- ・医療行為実施前に患者間違いを発見した事例
- ・患者へ投与前の薬剤間違いの発見

2. 運用方法

①報告者は院内ウェブから印刷を行い、必要項目に記載する。

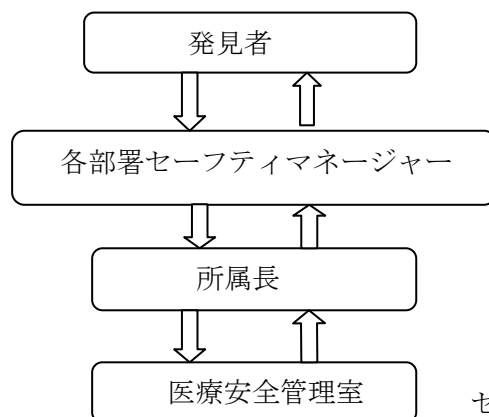
②記載後、各部署セーフティマネージャーへ提出を行う。セーフティマネージャーは報告者から聞き取りを行い、聞き取り後所属長へ提出を行う。

最終、所属長から医療安全管理室へ提出し、医療安全管理室で保管を行う。

集められた0レベル報告書内容は、毎月セーフティマネジメント委員会で報告を行い、各部署への伝達を行うこととする。

※電子カルテ入力権限のない職員（委託）については、本用紙を持ってインシデント報告を行うこと。

③報告体制



セーフティマネジメント委員会
医療安全管理対策委員会

平成28年 4月1日 運用開始